

■ 株主メモ

決算期 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒530-0004
(お問い合わせ先) 大阪府大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村證券株式会社 全国本支店
※株式関係のお手続用紙のご請求は、
次の三菱UFJ信託銀行の電話およ
びインターネットでも24時間承っ
ております。

電話 (通話料無料)
0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪証券代行部)
インターネットホームページ
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公 告 方 法 電子公告
<http://www.faith.co.jp/ir/koukoku/>
ただし、電子公告による公告をすることができ
ない事故その他のやむを得ない事由が生じた場
合には、日本経済新聞に掲載して行います。

免責条項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な
情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、
様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

Faith IR Mail

フェイスの最新情報をお届けします。

IR関連情報をE-mailで無料配信しております。
プレスリリースなどを発表とほぼ同時に、月に2-3回程の
頻度で送信申し上げます。



ご登録はこちらから

<http://www.faith.co.jp/ir/mail.html/>

株式会社フェイス

〒604-8171
京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町566-1井門明治安田生命ビル
<http://www.faith.co.jp/>

お問い合わせ先
TEL.075-213-3933 FAX.075-213-3833




Faith

株式会社フェイス
第16期(中間)営業のご報告

Faith, Inc. Semiannual Report
(2007.4.1~2007.9.30)

グループシナジーを追求し、マルチプラットフォーム戦略 & マルチコンテンツ戦略推進により、コンテンツ流通の新たな「しくみ」創りへ



マルチコンテンツ戦略とは？

音楽、映画、ドラマ、スポーツ等の多種多様なコンテンツを提供していく戦略です。

■ 株主の皆様へ



今後も一層の新市場創造を

代表取締役社長 平澤 創

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当社グループは「コンテンツの新しい流通のしくみ創り」を経営の基本方針に、社会や生活スタイルの変化を的確に捉えた、携帯電話やパソコン、カーナビゲーション、テレビ、家庭用ゲーム機等、ユーザーの利用環境に即した多彩なサービスを創造してまいりました。

当中間連結会計期間には、買収や有力企業との提携を積極的に行うとともに、当社が開発した視聴権利情報の認証技術Near Field Rights Management® (以下NFRM)※を利用した新しいコンテンツ配信の商用サービスを開始いたしました。

また海外においては、米Qualcomm社が推進するCDMA通信技術や半導体事業の世界展開にあわせて、当社グループの着信音再生(音

源)技術の需要が堅調に推移いたしました。

さらに、需要の高まる電子マネーの分野においては、オンラインゲーム、音楽配信分野等における高い決済シェアを強みとしてWebMoney決済額が引き続き大幅に伸びました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、電子マネー事業の引き続き高い成長、買収・提携等の積極的な事業展開による国内コンテンツ事業の順調な拡大により、前年同期比16.1%増の23,452百万円となりました。海外再編等により、営業利益は前年同期比65.6%増の1,066百万円、経常利益は前年同期比57.0%増の884百万円となりました。また、中間純利益は、経常利益の増加に米コンテンツ配信事業の売却益等も加わり960百万円(前年同期は653百万円の中間純損失)となり、黒字転換いたしました。 ※NFRMの詳細はP5~6をご覧ください。

事業基盤のさらなる拡大・強化に注力

国内の着信メロディ配信サービスは市場の成熟化、競争激化にともない縮小傾向が続いています。その一方、ブロードバンド・インターネット接続の普及拡大や携帯電話の第三世代移動通信方式への移行等が進み、エンタテインメント性の高い音楽・映像・オンラインゲーム、医療・美容・健康といった生活

情報等の配信増加や、携帯端末を用いた利便性の高い情報サービスの拡大等が、デジタルコンテンツ配信市場の拡大を牽引しています。

当社グループは、こうした市場動向に先んじて、買収や有力企業との提携を積極的に進め、『コンテンツの新しい流通のしくみ創り』に取り組んできました。

コンテンツ事業

NFRMの商用サービス開始等新たな取り組みを推進

国内においては、有力企業との提携や買収等を通じて、事業基盤の拡大、強化につとめました。

①NFRMを利用した配信プラットフォームの実証実験を実施。2007年6月にはギガネットワークスが、初のNFRMの商用サービスを開始しました。

②ギガネットワークスがエム・ヴィ・ピーとメディア・コンプレックスを買収。

携帯電話、パソコン等のVOD (Video on demand) 向け映像コンテンツの制作ノウハウや、お笑い、バラエティ等のコンテンツ配信権を保有する両社と連携し、映像配信分野への展開を加速していきます。

③グループにおけるソフトウェア開発、ネットワークシステムの構築、運用等に関する経営資源を集約するため、フェイス・ビズを設立。グループ内の企業が連携し、新たなコンテンツ配信事業に取り組む体制を整備しました。

④デスパレードがギガネットワークスの運営する携帯電話向けサービスを通じて、デスパレード制作出演作品の配信を開始しました。今後も出資、調達作品を積極的にグループの新たな配信プラットフォームに展開していきます。

⑤パソコン用NFRM動画再生アプリケーションをソニー株式会社製パソコン

VAIOの2007年秋モデルへ標準搭載することにより、NFRM対応サービスの利用環境を向上しました。

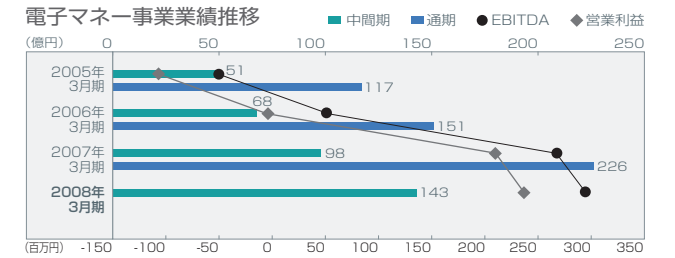
また、すでに複数の半導体メーカーを通じて、各種メーカーの携帯電話に採用されている着信音再生(音源)技術の需要が堅調に推移しました。

海外においては、米Qualcomm社が推進する携帯電話通信技術や半導体事業の世界展開に合わせて、米国、中国、インド、南米等を中心として、当社グループの着信音再生(音源)技術の需要が堅調に推移しました。なお、国内外の累積出荷台数は5億台超となりました。

以上の結果、コンテンツ事業の売上高は、買収等により国内コンテンツ配信事業は順調に拡大したものの、海外再編により海外コンテンツ配信事業の減収があったことから、8,345百万円(前年同期比1.8%減)となりました。営業利益は、売上高の減少に加え、音楽・映像配信における配信許諾権使用料の増加および新マーケット創造のための先行投資負担があったことから、785百万円(前年同期比38.9%減)となりました。

44.6%増)、営業利益は236百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

※総務省・情報通信統計データベースより



その他の事業

その他の事業については、ポイントカードシステム事業収入等により、売上高は805百万円(前年同期比55.2%減)、営業利益は53百万円(前年同期は26百万円の営業損失)となりました。

通期の見通し

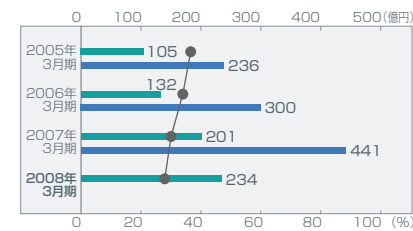
当社グループは、今後大きな成長が見込まれるデジタルコンテンツ配信市場の中で、引き続き、『コンテンツの新しい流通のしくみ創り』に積極的に取り組み、ネットワークや情報端末等多様化する利用環境に左右されることなく横断的なサービスとテクノロジーを提供するとともに、魅力的なデジタルコンテンツの制作プロデュースとユーザーリーチの増大により、新たな需要を開拓することで収益機会を拡大していきます。また、ネットワーク上の決済手段として高いシェアを占めている電子マネーの発行も積極的に推進していきます。

一方、海外においては、引き続き配信プラットフォーム技術のライセンス需要を積極的に開拓していきます。

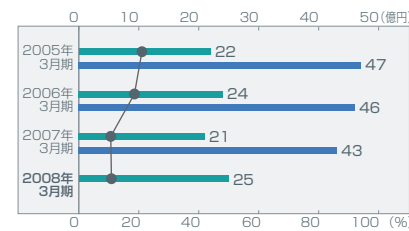
以上の結果、通期の当社グループの売上高は50,000百万円(前年同期比13.2%増)を予想しています。利益面では、単体国内着信メロディ配信ソリューションは減収であるものの、海外事業の再編による収益性の改善や事業拡大等により、営業利益は2,100百万円(前年同期比98.0%増)、経常利益は1,700百万円(前年同期比99.1%増)、当期純利益は1,300百万円(前年同期は1,883百万円の当期純損失)を予想しています。

財務ハイライト(連結)

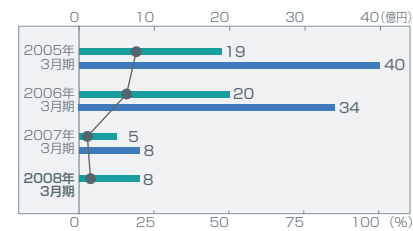
売上高/売上高総利益率



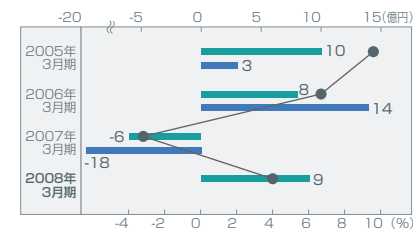
EBITDA/EBITDA利益率



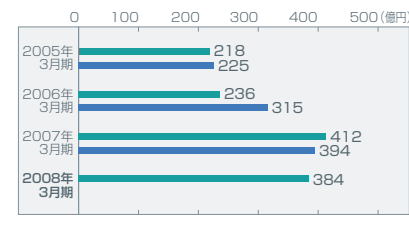
経常利益/経常利益率



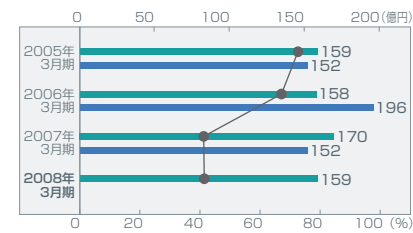
中間(当期)純利益/中間(当期)純利益率



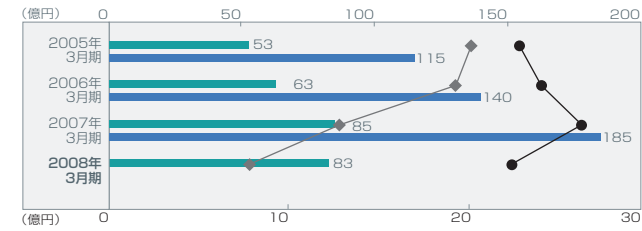
総資産



自己資本/自己資本比率



コンテンツ事業業績推移



電子マネー事業

ゲーム、音楽、映像配信等、決済件数が伸長

国内のブロードバンド・ネットワーク契約件数が2,700万件(2007年6月末*)を超え、デジタルコンテンツへの需要が引き続き拡大しました。このような中で、ネットワーク上で「安全」かつ「便利」に使用することが可能な電子マネー「WebMoney」の決済件数は大幅に伸長しました。加えて、QRコードへの対応、インターネット上での支払いに便利なサービス「ウェブマネーウォレット」の無料提供により、ユーザーの利便性を高めました。

以上の結果、電子マネー事業の売上高は14,300百万円(前年同期比

NFRMサービスイン | '07年6月、グループ力を結集し、新たな映像配信サービスを始動

Near Field Rights Management® (NFRM)はフェイスが開発した新しいタイプの権利認証技術です。まず携帯サイトでコンテンツの視聴権利を購入し、その携帯をFeliCaポート搭載のパソコンに“かざす”だけで、自宅、友人宅、会社など、好きな場所で映像コンテンツを大画面で楽しむことができます。6月にはギガネットワークスが初めてNFRMサービスを商業化しました。同サイトではデスベラード提供の連続ドラマ『戦場のガールズライフ』やメディア・コンプレックス協力の「横山やすし・西川きよし」「タカアンドトシ」など吉本興業所属タレントの動画コンテンツを配信しています。さらに11月5日にはiモードのおサイフケータイメニュー内にNFRMポータルサイト「カザスチャンネル™」がスタート、各コンテンツプロバイダ提供のNFRM対応動画の一括検索が可能です。NFRMサービス普及に向けた環境整備も着実に進んでいます。9月にはNFRM対応の動画コンテンツをパソコン画面で再生するアプリケーション「NFRM PC Viewer」がソニー株式会社製VAIO2007年秋モデルに標準搭載されました。10月には赤外線通信による、シャープ株式会社製インターネットAQUOSとのデモンストレーションを実施。テレビなどの各種デジタル家電におけるNFRM対応コンテンツの視聴を大きく前進させました。

NFRMサービスイメージ



ますます進化し、利便性が高まるWebMoney

※11月2日、ウェブマネーは、ジャスダック証券取引所の新市場であるNEO(ネオ)への上場承認を頂きました。

QRコード付シートの販売

ウェブマネーは、6月よりマルチメディア端末「Famiポート」設置の全国ファミリーマート約7,000店で、QRコード対応の電子マネー「WebMoneyシート」の販売を開始しました。昨今携帯サイトにおける決済額増加は顕著であり、これらの決済にWebMoneyが広く利用されています。しかし利用者からはプリペイド番号入力を「より簡便に」との声がありました。そこで一般的に普及しているQRコードを利用、大幅に利便性を向上しました。

「ウェブマネー ウォレット」サービス開始

8月、WebMoneyの入手や管理・支払いが、より便利に行えるお財布機能「WebMoney PREMIUM」は「ウェブマネー ウォレット」に生まれ変わりました。これまでチャージにはプリペイド番号ホルダーへ一旦登録することが必要でしたが、直接ウォレットへチャージされるようになりました。また、ネットバンクでのチャージも可能となりました。さらに、オンライン販売サービスで購入したWebMoneyも直接ウォレットへチャージされるようになりました。



「MusicDoor」取得などEコマース事業・Eチケット事業を強化

プレイブは、CD/DVDの総合オンラインストア「MusicDoor(ミュージックドア)」の事業を株式会社タイトーから取得し、8月1日よりサイト内容を拡充し、リニューアルオープンしました。MusicDoorは、人気のJ-POPから洋楽、アニメ、クラシック等あらゆるジャンルのCDやDVDの他、ゲームソフト等、約30万タイトルを取り揃えています。今後はAV機器や本、グッズ販売など、取扱商品の拡大を行い、一層のサー



MusicDoor

ビスアップと利用者の増大を図っていきます。さらにプレイブは、音楽をはじめとするイベント主催者や遊園地、コンサートホール等の施設運営事業者向けの電子チケット販売管理ソリューション「モバチケPiとイン」の提供を開始しました。プレイブは、音楽・映像ソフトのプロデュースおよびデジタルディストリビューション事業に加え、Eコマース事業、Eチケット事業を強化することで、音楽流通の新しいしくみ創りを進め、今の時代に相応しい「音楽の楽しみ方」を創造・提供していきます。



モバチケPiとインサービス

中間連結貸借対照表

科目	当中間期 2007年9月30日現在	前中間期 2006年9月30日現在
資産の部		
流動資産	21,586	17,674
現金及び預金	12,176	8,849
受取手形及び売掛金	6,999	6,375
有価証券	281	372
たな卸資産	342	52
繰延税金資産	1,145	759
その他	883	1,374
貸倒引当金	△243	△109
固定資産	16,905	23,609
有形固定資産	891	1,351
無形固定資産	10,151	14,688
投資その他の資産	5,862	7,569
投資有価証券	4,804	5,020
敷金	—	1,272
その他	1,784	1,395
貸倒引当金	△726	△119
繰延資産	6	11
資産合計	38,498	41,295

科目	当中間期 2007年9月30日現在	前中間期 2006年9月30日現在
負債の部		
流動負債	13,846	15,512
支払手形及び買掛金	4,993	4,319
短期借入金	3,049	6,178
未払法人税等	742	402
カード利用原価引当金	2,543	2,096
ポイント引当金	501	596
賞与引当金	98	95
その他	1,918	1,822
固定負債	7,818	8,292
長期借入金	5,342	7,011
繰延税金負債	453	1,069
退職給付引当金	43	29
役員退職慰労引当金	—	135
債務保証損失引当金	1,269	—
その他	708	46
負債合計	21,664	23,804
純資産の部		
株主資本	14,750	15,138
資本金	3,218	3,218
資本剰余金	3,708	3,708
利益剰余金	8,178	8,566
自己株式	△354	△354
評価・換算差額等	1,173	1,917
新株予約権	0	0
少数株主持分	908	434
純資産合計	16,833	17,491
負債純資産合計	38,498	41,295

中間連結損益計算書

科目	当中間期 2007年4月1日～ 2007年9月30日	前中間期 2006年4月1日～ 2006年9月30日
売上高	23,452	20,193
売上原価	16,896	14,114
売上総利益	6,555	6,079
販売費及び一般管理費	5,488	5,435
営業利益	1,066	644
営業外収益	222	70
営業外費用	404	151
経常利益	884	563
特別利益	1,430	182
特別損失	337	1,032
税金等調整前中間純利益又は純損失(△)	1,977	△286
法人税、住民税及び事業税	918	468
少数株主利益又は損失(△)	98	△102
中間純利益又は純損失(△)	960	△653

中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期 2007年4月1日～ 2007年9月30日	前中間期 2006年4月1日～ 2006年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,778	737
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,096	△14,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,055	13,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	74	△33
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	2,893	△270
現金及び現金同等物の期首残高	8,065	7,679
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	193
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,959	7,601

中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間(2007年4月1日～2007年9月30日)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算差額 等合計	新株引当権		
2007年3月31日 残高	3,218	3,708	7,276	△354	13,848	1,195	189	1,385	0	679	15,914
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△59		△59						△59
中間純利益			960		960						960
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△228	16	△212	—	228	16
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	901	—	901	△228	16	△212	—	228	918
2007年9月30日 残高	3,218	3,708	8,178	△354	14,750	967	206	1,173	0	908	16,833

株式状況

発行可能株式総数	1,990,000株
発行済株式総数	1,196,000株
株主数	17,374名

大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	466,040	39.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	45,341	3.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	40,480	3.40
シービーニューヨークインテルキャピタルコーポレーション	31,600	2.65
吉本興業株式会社	20,687	1.73
田中 治雄	14,870	1.24
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドン エスエルオムニバスアカウント	14,221	1.19
エフビーエルオーピーシービーエムアカウント	14,166	1.19
資産管理サービス信託銀行株式会社	12,982	1.09
ネクサス	10,561	0.88

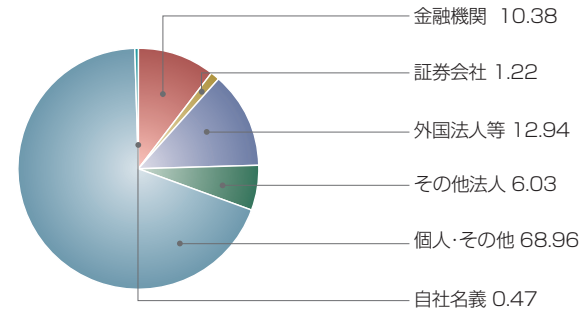
取締役および監査役

代表取締役社長	平澤 創
取締役	踊 契 三
取締役	佐 伯 浩 二
取締役	小清水 勝
取締役(非常勤)	樋口 泰 行 (マイクロソフト株式会社代表執行役員COO)
常勤監査役	渡 邊 章
常勤監査役	清 水 章 (公認会計士)
監査役	富 岡 康 眞 (テレック総合研究所主任研究員)
監査役	菅 谷 貴 子 (弁護士)

※樋口泰行は、社外取締役であります。
※監査役全員は、社外監査役であります。

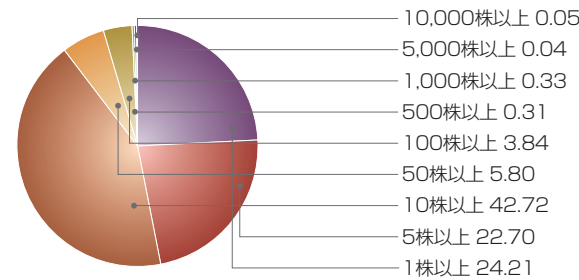
所有者別分布状況 (%)

(発行済株式総数 1,196,000株)



所有株数別分布状況 (%)

(株主数 17,374名)



アドバイザー・ボードを構成する社外有識者

青木 利晴	株式会社NTTデータ 相談役 株式会社NTTデータ 元代表取締役社長 日本電信電話株式会社 元代表取締役副社長
南部 靖之	株式会社パナソニック 代表取締役グループ代表兼社長
堀 裕	堀総合法律事務所 代表 社会保険庁・文部科学省大臣官房総務課・ 日本郵政公社(貯金事業部等)顧問弁護士 みずほグループ各社 顧問弁護士
山本 恵朗	財団法人松翁会 理事長 株式会社みずほホールディングス 元取締役会長 株式会社富士銀行 元頭取

新サービスや新機能の強化を着実に実施

配信プラットフォーム事業

08.09
新機能「ウェブマネー
ウォレット」の提供を開始

WebMoneyの入手や管理・支払いが行えるお財布機能が「ウェブマネーウォレット」としてリニューアル。購入したWebMoneyが、直接ウォレットへチャージされるようになり、さらに便利になりました。

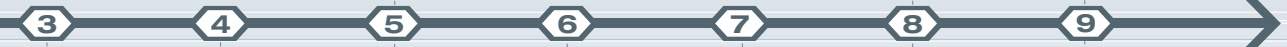
09.05
プレイブ、「モバチケPiっ&イン」の提供を開始

プレイブは、音楽等のイベント主催者や遊園地、コンサートホール等の施設運営事業者向けに、電子チケットをダウンロードした携帯電話をかざすだけで、簡単入場を実現する電子チケット販売管理ソリューション「モバチケPiっ&イン」の提供を開始しました。

09.10
ソニー製VAIOの2007年秋モデルに「NFRM PC Viewer」をプリインストール

NFRMに対応する動画コンテンツをパソコンの画面で再生するためのアプリケーション「NFRM PC Viewer」がVAIOの2007年秋モデルへ標準搭載。NFRMユーザーはワンアクションで動画コンテンツを楽しむことができ、利便性が大幅に向上しました。

2007.03



2007.09

03.30 フェイス
「ローズオンライン
エボリューション」
の日本における
全権利を取得

05.01 フェイス・ビス
新たな配信プラットフォーム構築による
マーケット開拓と事業拡大を目指し
フェイス・ビスを設立

07.31 メディカルコミュニケーション
「ポケットQQ健診サービス」により
福利厚生サービスを拡張

08.01 プレイブ
「MusicDoor」
リニューアルオープン

04.26
ギガネットワークスがMVPおよび
メディア・コンプレックスを子会社化

ギガネットワークスは、映像番組コンテンツの制作プロデュース・配信事業の強化を目的にエム・ヴィ・ピーを、シニア市場向けコンテンツ配信市場の開拓を目的にメディア・コンプレックスを子会社化しました。

06.25
ギガネットワークス、NFRMサービスを
iモード公式サービスで開始

ギガネットワークスはNFRMを利用した、映像の有料配信サービスをiモード公式サイトにて開始。吉本興業所属のタレントによるライブ映像をはじめ、様々な映像コンテンツの配信を開始しました。

08.20
デスペラード、
テレビ放送ドラマの
PC・ケータイ向け
デジタル配信開始

映画等映像作品の制作・プロデュース・配信を行うデスペラードは、ギガネットワークスが展開する有料配信サービスにて、「戦場のガールズライフ」と『占い師 天尽』の配信を開始しました。

コンテンツ制作・プロデュース事業/コンテンツ配信事業